

会議議事録

会 議 名	第 1 回学校関係者評価委員会	
開 催 日 時	平成 27 年 6 月 27 日（土） 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	彰栄保育福祉専門学校本館 会議室	
参 加 者	外 部 員	参加者 4 名 児島 康夫 川越キングス・ガーデン 理事 鈴木 一伸 二ツ橋愛隣幼稚園 副園長 齋藤 洋子 彰栄学園 評議員・卒業生 阿川 裕孝 小・中学校校長OB
	内 部 員	参加者 4 名 帆苺 猛（校長）、加藤 啓（校長補佐）、 芦野 裕一（事務局長）、堀越 弘二（広報）
		欠席者 2 名 林 淳三、山本 慎介
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ●2015 年度 第 1 回学校関係者評価委員会プログラム ●2015 年度 重点目標について ●退学者推移一覧表 	

会 議 録

1. 校長挨拶（帆苺）
開会の挨拶。
2. 委員長挨拶（児島）
児島先生から、挨拶。
3. 平成 27 年度 重点目標について説明（堀越）
配布資料について説明をおこなった。
4. 委員からの質疑、評価
別紙参照
5. 今後の日程について
今後のスケジュールの提案。
6 月下旬 平成 26 年度自己点検・自己評価をまとめる
9 月 19 日(土) 2015 年度 2 回委員会開催
2 月 27 日(土) 2015 年度 3 回委員会開催
7. 閉会

各評価項目の質疑応答について

1. 重点目標について

①退学防止について

学校評価を高める上での課題として、退学者数を減らす事も重要な要因の一つである事から全在籍者数の10%以下とすることを目標とする。

2014年度の入試種別ごとの退学推移資料を基に退学率を説明

退学の理由は。(阿川)

*保育科2年生は、実習を通して、思っていたイメージと違い挫折したり、また家庭環境の急変により続けられないなど。(加藤)

*介護福祉科2年生は、21～53歳(訓練生)と年齢の幅もあって、授業や実習で不平・不満もあり、プライドも高い為、自己主張も強く、実習で現場指導者(年下という事もある)に対して馴染めなかった。(伏見)

*介護福祉科1年生は、介護をするつもりではなく、親に言われて入って来た為、諦めるのも早い。(伏見)

技術的な事だけでなく、精神的な事をどうするか。(鈴木)

具体的な対策は。

*退学の際には、学生と面談を行い、意見書を書いている。また年2回面談も行っている。退学までの経緯や理由を書く、意見書を深く掘り下げて、今後の活動を検討する。(加藤)

1・2年、学科によって、目標設定を変えてみては。

訓練生は数値から外しては。(阿川)

介護現場の楽しさ、素晴らしさを話すようにしている。

しかし、学生からは辛く、大変だという声が多く上がって来ているので、マイナス面な話だけでなく、プラス面の話しを他の先生方にもお願いしたい。(児島)

② 校内改修について

学生が学校生活を快適におくることが、学校評価を高めることに繋がるため、計画的に教室の改修ならびに設備などの充実を図る。

2014年度の設備購入について説明。

吸引シュミレータ、小型吸引機、経管栄養シュミレータ、AEDトレーニングセット、男女入浴介助モデル。

4号館 講堂椅子更新 椅子220脚、台車6台

一昨年までに耐震工事は終了し、今後は教室の改修や備品などの入替えなど、計画的に予算を組んで進めていく。

授業環境の改善も行っているのでは。(阿川)

介護福祉科について

*現場の生の声を聞かせるよう(卒業生)にしている。また施設長クラスの方に来ていただき講師料を払い講義をしてもらっている。(伏見)

保育科も卒業生などに講義を行ってもらっては。

マイクは移動しながら使えるピンマイクにしては。(阿川)

*介護福祉科の卒業生は、夜勤明けで、学校に顔を出してくれるが、保育科の卒業生は、平日に、学校へ来るのは難しい。(加藤)

何でもかんでも便利になるのは、どうなのか。

不便な物を使っているからこそ、便利な物のありがたみが分るので残してもらいたい
(鈴木)

* (加藤)

2. 今後のスケジュール (案)

- 6月下旬 平成26年度自己点検・自己評価をまとめる
- 8月下旬 報告後、自己点検・自己評価を印刷
- 9月下旬 ホームページへ掲載

3. 第2回・第3回委員会の開催予定

- 第2回学校関係者評価委員会 2015年9月19日(土) 10時30分～
- 第3回学校関係者評価委員会 2016年2月27日(土) 10時30分～